

CT造影検査を受けられる方へ(説明書)

1 造影検査について

造影剤と言う薬剤を使用して行う検査です。造影剤を使用することで、異常の有無や病状の性状、範囲などを詳しく描出することができ、より正確な診断を行うことができます。

2 造影剤の副作用

造影剤は改良され副作用の出る頻度は低下し、その程度もより軽度になって来ていますが、まれに症状が出る場合があります。

① 軽い副作用

吐き気・嘔吐・かゆみ・じんましん・熱感などが100人に3人程度(約3%)におこりますが治療の不要な事がほとんどです。

② 重い副作用

血圧低下・呼吸困難・意識消失・腎不全等が2.5万人に1人(0.004%)の割合で発生します。きわめてまれですが、40万人に1人(0.00025%)の割合で死亡に至る例もあります。

③ 遅発性副作用

検査終了後数時間から数日くらいの間に頭痛・吐き気・めまい・じんましんなどの症状をおこすことがあります。

何か気になる症状が現れた場合は、検査終了後にお渡しする「造影剤の注意書」に記載してあります連絡先にご連絡ください。

④ 副作用時の対応について

副作用が発生した場合には適切な処置を行います。

3 血管外への漏れ

造影剤の注射中に、血管の外に造影剤が漏れることがあります。注入中に痛みがあるときはすぐにお知らせください。

少量の漏れは心配いりません。きわめてまれですが多量に漏れた場合には、別の処置が必要になります。

4 被ばくについて

今回の造影検査ではX線を使用するため、被ばくが生じますが、検査の目的と被ばくとの影響を考慮しても検査の必要性が上回るため、検査となりました。

今回の被ばく線量は、身体に影響の出る線量ではありません。

当院では、患者さんの体格に合わせて線量の最適化を行っています。

<注意事項>

- ◆ 過敏症の既往がある場合や、重篤な甲状腺疾患もヨード造影剤は禁忌です。
- ◆ 気管支喘息の方は医師にお申し出ください。(診断上やむを得ないと判断される場合を除き、投与しないこと。副作用の発生頻度が高いとの報告があります。)
- ◆ 食事は検査4時間前までに済ませてください。
※飲水(水、お茶は飲んでかまいません。)
- ◆ ビグアナイド系糖尿病用剤(メトグルコ、エクメット、メルビン、メデット等)とヨード造影剤は併用注意です。
検査前後48時間、当日を含め5日間の服用を中止してください。

(月 日から 月 日まで の服用を中止してください)

※ただし緊急に検査を行う必要がある場合を除く。

相模原中央病院 042-754-2211(代)

2025年3月24日改訂